

各 位

会 社 名 株式会社ウェルディッシュ
代表者名 代表取締役社長 小松周平
(コード番号 2901 東証スタンダード)
問合せ先 経理総務部(電話 03-6277-2308)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、11月28日に関東財務局に提出いたしました2025年8月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社グループは、代表取締役社長小松周平における新経営体制ではこれまで管理部門の人材拡充を実施してきているものの、事業の成長スピードと比較すると適切な経理・決算業務に必要な専門知識を持つ人材が依然不足しております。その結果、決算作業及び監査スケジュールに遅延が生じたこと等、監査法人より指摘を受ける事態が生じました。

2. 当事業年度末までに是正できなかった理由

当社グループの経理・決算業務において責任者である管理担当執行役員における業務の不備が複数生じたこと等に伴い、必要十分な体制を構築する期間が不足しておりました。具体的には、管理担当執行役員が経理・決算に必要な資料等の提出間際になってそれを未了かつ管理部門に共有しないまま退職し、重要な経理・決算業務の引継ぎまでも放棄したことによる起因します。また、それらに伴い、経理・決算資料の提出日までに体制の再構築期間を十分に取るなどが間に合わず、当事業年度においては決算業務をスムーズに遂行できなかったためあります。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社グループは、決算財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、今後は2026年8月期第2四半期末日までに、以下の方針に基づく再発防止策を講じ、決算財務報告に係る内部統制の不備を是正し、追加的に適切な内部統制を構築し、整備運用する方針であります。

- ①内部統制評価に関わる人員を含む管理部門の運営体制強化
- ②決算財務報告プロセスの抜本的な見直し
- ③決算業務における外部専門家の積極的活用

なお、監査法人より指摘を受けた必要な修正は全て連結財務諸表等に反映しており、これによる財務諸表監査に及ぼす影響はありません。

4. 連結財務諸表及び財務諸表に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、全て連結財務諸表及び財務諸表に反映しております。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上